

2.1 イタセンパラ

絶滅危惧種であり、国の天然記念物にも指定されています。



城北ワンドにおける仔稚魚の変化



絶滅危惧種であるイタセンパラの仔稚魚の確認数は年毎に大きく変動しています。

1.1 淀川水系の特徴

【鳥飼大橋～枚方大橋の生息生物】



河川公園が整備された前面には原野性植物が残っているところがあります。

特徴的な鳥類



カワラヒワ
全長約14cm



ユリカモメ
全長約40cm

特徴的な植物



オギ
高さ約2 m



セイタカ
アワダチソウ
高さ約2.5m

特徴的な魚類



オイカワ
全長8 ～15cm



ハス 全長20～30cm

1.1 淀川水系の特徴

【枚方大橋～三川合流手前の生息生物】



夏場にオオヨシキリの大繁殖地となる鵜殿には、多くの生物が生息しています。

特徴的な鳥類



ムクドリ
全長約24cm



オオヨシキリ
全長約18cm

特徴的な魚類



カマツカ 全長12～22cm



コウライモロコ 全長約15cm

特徴的な植物



ハンゲショウ
高さ 50～100cm



ミコシガヤ
高さ 30～60cm

1.1 淀川水系の特徴

【三川合流付近の生息生物】



三川合流付近の河川敷は野草が繁茂しているところもあり、昆虫類の生息場となっています。

特徴的な鳥類



ホオジロ
全長約16cm



コサギ
全長約61cm

特徴的な魚類



カワヒガイ 全長6 ~12cm



モツゴ 全長6 ~9 cm

特徴的な植物



セイタカヨシ
高さ約4 m



ツルヨシ
高さ約2 m

1.1 淀川水系の特徴

【宇治川の生息生物】



向島にはヨシ、オギの大群落があり、動物、昆虫の生息場所となっています。

特徴的な鳥類

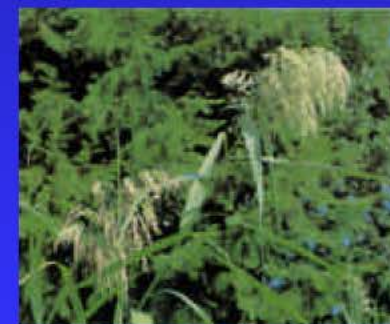


オオヨシキリ
全長約18cm



ツバメ
全長約17cm

特徴的な植物



ヨシ 高さ3～4m

特徴的な魚類



アユ 全長10～30cm



コウライモロコ 全長約15cm

2.2 ナカセコカワニナ

琵琶湖・淀川の固有種であり、絶滅危惧
I 類（絶滅する可能性が最も高い種）に
指定されています。



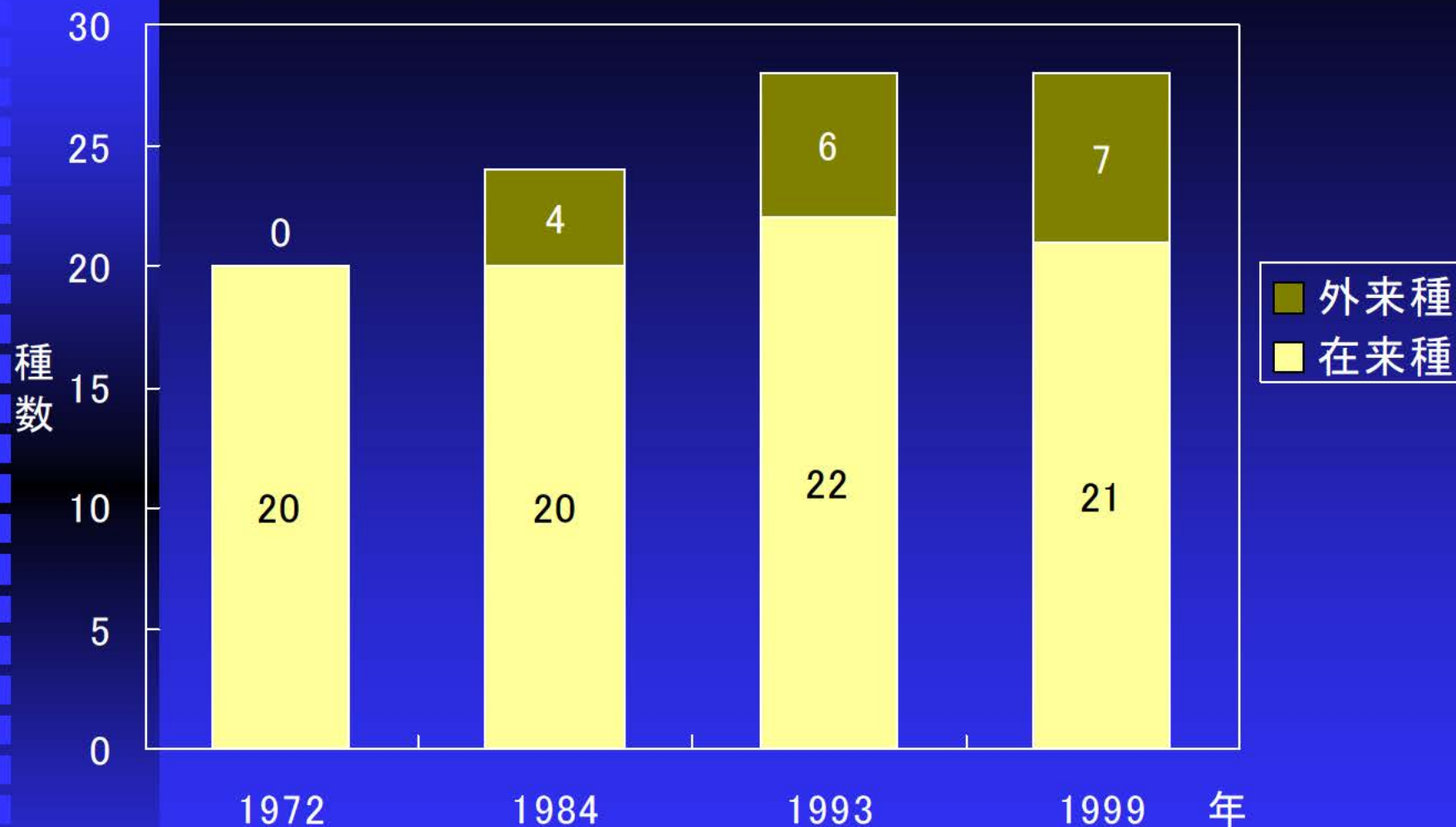
H11年度生息分布調査



【変化する淀川の生物】

- ① 在来種の減、外来種の増
- ② 水辺、湿地、河原の生態系から 陸生の生態系へ

【 外来種と在来種の関係(魚類)】



以前は確認されなかった外来種が最近は確認されており、その種数は増加傾向にあります。

※本表は傾向を表すために調査地点、調査方法の異なるデータを用いています。

出典：淀川工事事務所²⁰

1.2 魚介類

【増加、減少傾向にある魚介類】

〔増加傾向にある魚貝類〕

ブルーギル、ブラックバス、ジャンボタニシ等



〔減少傾向にある魚貝類〕

スジシマドジョウ、イタセンパラ、アユモドキ等



植物

【増加、減少傾向にある植物】

〔増加傾向にある植物〕

カナムグラ等のツル性植物及び陸生植物



セイタカアワダチソウ



カナムグラ



クズ



オオブタクサ

鳥のフン等により運ばれてきた植物



ニワウルシ



ナンキンハゼ